

事務所 〒690-0874 松江市中原町167-1-3F TEL 21-6143 FAX 31-8985
HP: <http://www.matsue-rotary.jp> E-mail: office@matsue-rotary.jp

第 3334 回例会 (令和 3 年11月10日・水)

今週のプログラム

11月10日(水) ゲストスピーチ
「インフルエンサーマーケティングについて」
FISM株式会社 経営企画 兼 出雲オフィス責任者 こやなぎけんじ 小柳兼嗣氏

次週のプログラム

11月17日(水) ゲストスピーチ
「『味覚の一週間』®について」
Food Marico代表 うえだ アレルギー料理研究家 上田まり子氏

誕生月

小林 祥泰 会員 5日	澤山 英治 会員 10日
木原 親史 会員 13日	佐々木 伸治 会員 13日
木村 俊一郎 会員 16日	田中 裕一郎 会員 17日
日光 哲弥 会員 19日	木田 裕康 会員 21日
艸葉 美市博 会員 25日	井上 晴夫 会員 26日
杉原 有 会員 28日	加藤 隆宏 会員 30日

2021年11月～12月の予定

- 11月10日(水) 定例理事会
- 11月20日(土) ①おろち号とたたらの旅 小冊子による
トロッコ列車PRプロジェクト
②コロナ禍のたたら国トロッコ列車
で木次線活性化PRプロジェクト
- 12月1日(水) 定例理事会
- 12月8日(水) 年次総会
- 12月15日(水) 家族忘年会
- ※12月22日(水) 休会
- ※12月29日(水) 休会

●例会変更のお知らせ

月 日	クラブ名	受付場所
11月22日(月)	松 江 南	松江エクセルホテル東急
11月24日(水)	大 社	出雲商工会内事務局(大社町柗築1344)
11月25日(木)	松 江 東	ホテル一畑
11月29日(月)	米 子 南	ANAクラウンプラザホテル米子1F
12月16日(木)	松 江 東	ホテル一畑
12月20日(月)	松 江 南	松江エクセルホテル東急
12月21日(火)	境 港	境港RC事務局(境港市上道町3147)
12月21日(火)	松江しんじ湖	すいてんかく
12月23日(木)	松 江 東	ホテル一畑
12月27日(月)	松 江 南	松江エクセルホテル東急
12月28日(火)	松江しんじ湖	すいてんかく
12月30日(木)	松 江 東	ホテル一畑

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため状況により急遽変更(ビジター受付なし)もごさいますので事前に事務局へ確認願います。

第3333回例会記録

令和 3 年 10月20日 (水・雨時々曇り)

会員数	66名	■ビジター	なし
出席者数	39名	■メーカー	天野、伊原(松江しんじ湖)
欠席者数	27名		飯盛、井上、今村、内海、菅野、艸葉、角、田中、津久井、辻、服部、堀江
出席率	66.10% (出席免除会員含む)		山崎(オンライン)
前々回補正	95.16%		

会務報告

小林会長

- ゲストスピーカー紹介
雲南市 副市長
よしやま おさむ
吉山 治様



- 11月20日開催のお知らせ、説明(下記①②)と実行委員会組織図配付
①おろち号とたたら国トロッコ列車PRプロジェクト(地区補助金)
②コロナ禍のたたら国トロッコ列車で木次線活性化PRプロジェクト(島根経済文化振興助成金)について
全国に発信する為にTwitterを始めましたので事務

局までアカウントのお知らせのお願い

- 2020-21年度菊池捷男地区ガバナーから冊子贈呈配付

景山幹事

- 10月24日地区大会に参加の皆様へのお知らせ
- ガバナー事務所からのお知らせ
①日本経済新聞10月22日(金)朝刊全国版にロータリー広告掲載
②ロータリー日本100年史刊行のお知らせ
1部6,600円 事務局まで。
③10月24日開催の「世界ポリオ根絶サミット in D2780」のお知らせ
- 10月27日(水) 休会
11月3日(水) 祝日で例会なし
次回例会は11月10日(水)

委員会報告

- 親睦・出席委員会 谷口正親睦・出席委員長
出席報告
- 公共イメージ委員会 川内委員長
ロータリーの友10月号の紹介

プログラム

「木次線と脱炭素」

雲南市 副市長 よしやま 吉山 おさむ 治氏

ニコニコ箱

7,000 円

小林（吉山副市長のトロッコ列車のスピーチを楽しみにしています。）
景山、佐藤（吉山副市長のスピーチを楽しみにしています。）
谷口博、中村、矢野、錦織（吉山副市長のスピーチに期待して。）

ベストメッセージ賞：該当者なし
司会 木村俊一郎会場監督

ひとこと
随想

誇り高い宮大工さんとは



うちだ ひろし
内田 寛

宮大工の呼称は地方では寺社大工ともいわれる。もともと大工職とは律令国家時代の官職名で大工-中工-小工-工との職階であり、各組を分担し大組織で建設事業を成し遂げていたようである。現代でいうと国土交通省の技師長の立場である。

織田信長公の信長公記にも度々大工職名が記載されていることは、破壊と建設が繰り返される時代でもあり、早急に再建するため戦地にも随伴し直接に指示されていたと思える。

江戸時代に入ると木工に携わる職人には多くの大工職名がつくようになる。例えば宮大工、町大工、船大工、数奇屋大工、家具大工、建具大工等々と多くの呼び名が広がった。分業が進み各職方を統括する人物には棟梁と呼ばれるようになった。

又、江戸期には木版印刷が広まり、幕府御大工宗家のみ一子相伝の秘伝書である大工雛形、木割り書（寺社邸宅の基準モジュール寸法を表す）が町中に出回ったため大工技術のレベルが格段上がった。

行政の面では町奉行と寺社奉行とでは自治の管轄が違うため町大工、寺社大工と区分されたが、現在でも工務店建築会社等で両面を兼ねる会社も多くあるようだ。

国内15万をこえる寺社を維持するには100名余りの宮大工では少なすぎる。

一般の大工職は経験年数10年程度で一人前になるが、宮大工の場合20年近い経験が必要とされ、文化財（国宝、重文）となると全国に散在するため、在宅出勤が難しくなる等によって就業する人が減少している。

宮大工の技術とは、大きく分けると躯体木工技術と彫刻技術に分類され、以下その概要である。

- ※継手、仕口（木材交差のジョイント）にボルト補強金物釘などを使わない
- ※大きい部材と頑丈な仕口により強く接合される
- ※木材 板材（主として桧）を用い、合板とボード等は用いない
- ※彫刻が複雑な飾りは彫刻大工（細工師）が作成する
- ※文化財の施工は創建当時の大工道具（槍かんな、チョウナ手斧）で仕上げ復元する
- ※軒の深い建物が多く災害（積雪大雨台風地震）に強い構造補強をする
- ※軒先の補強に桔木（はねぎ、天秤梁）を多用する（住宅建設）



桔木（はねぎ、天秤梁）施工



複雑な彫刻

2021-22年度 地区大会

2021年10月24日(日)
会場 とりぎん文化会館

